



相馬 真紀子

WWF ジャパン 森林グループ 森林グループ長

大学にて地理・環境学の学士号を取得後、大学院にて国際環境協力を学び、修士号取得

コンサルティング企業にて、東南アジア、アフリカ地域を中心とした農村開発/アグロフォレストリーの実施・調査に従事した経験を経て、2018年にWWF入局

木材やカカオなどの森林コモディティのサプライチェーンをより持続可能なものに改善するため、アジアやアフリカ諸国の生産現場での森林保全プロジェクトの立案・管理や、森林コモディティを調達する日本企業とのエンゲージメントを担当





WWF (World Wide Fund for Nature/世界自然保護基金) は、1961年にスイスで設立。 世界100か国以上で活動する環境保全団体です。

◆WWFのミッション

地球の自然環境の悪化を食い止め、人類と自然が調和して生きられる未来を築く。

♦WWFの二大目標

Goal 1 2030年 生物多様性の回復

Goal 2 2050年 脱炭素社会の実現

◆WWFの主な活動テーマ



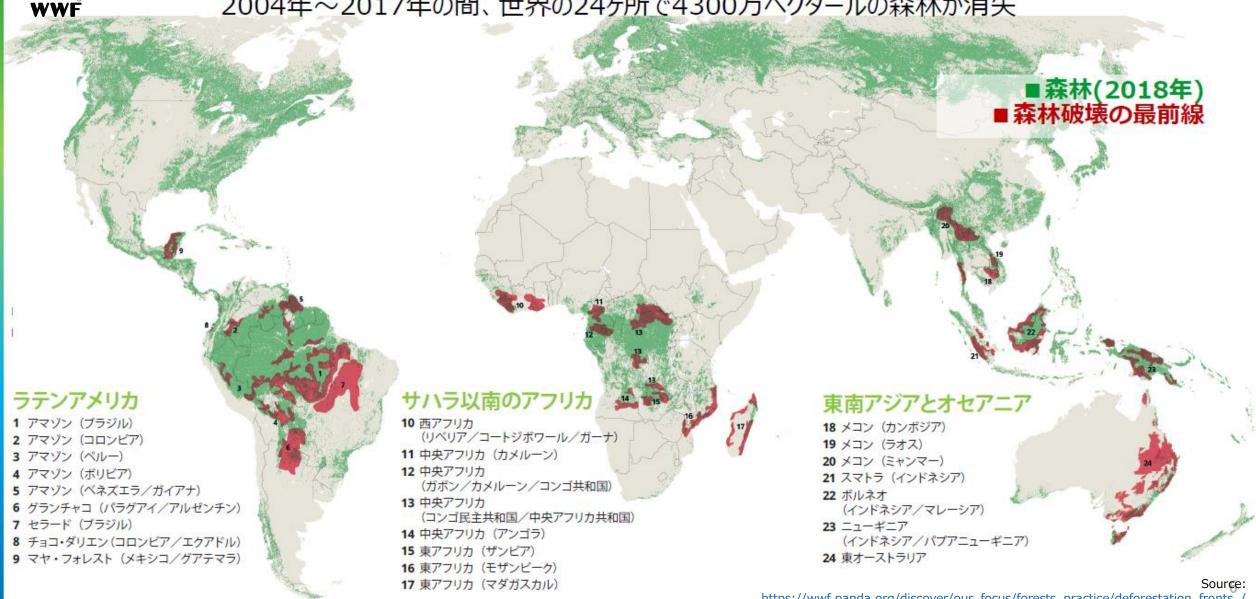






WWF報告書「森林破壊の最前線」

2004年~2017年の間、世界の24ヶ所で4300万ヘクタールの森林が消失



https://wwf.panda.org/discover/our focus/forests practice/deforestation fronts / https://www.wwf.or.jp/activities/activity/4547.html



世界の自然生態系は危機的状況

持続可能でない農林畜産業が主な原因

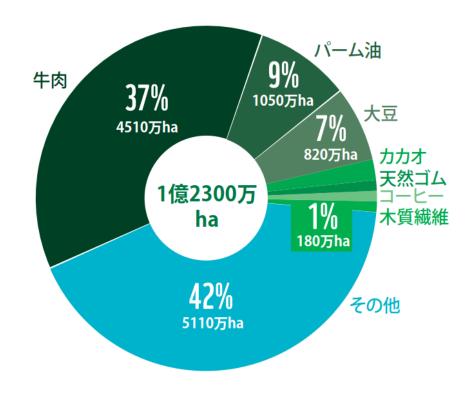


図4:コモディティ別の農業を原因 とする森林破壊 (2001 ~ 2015 年、 Goldman, et al.)

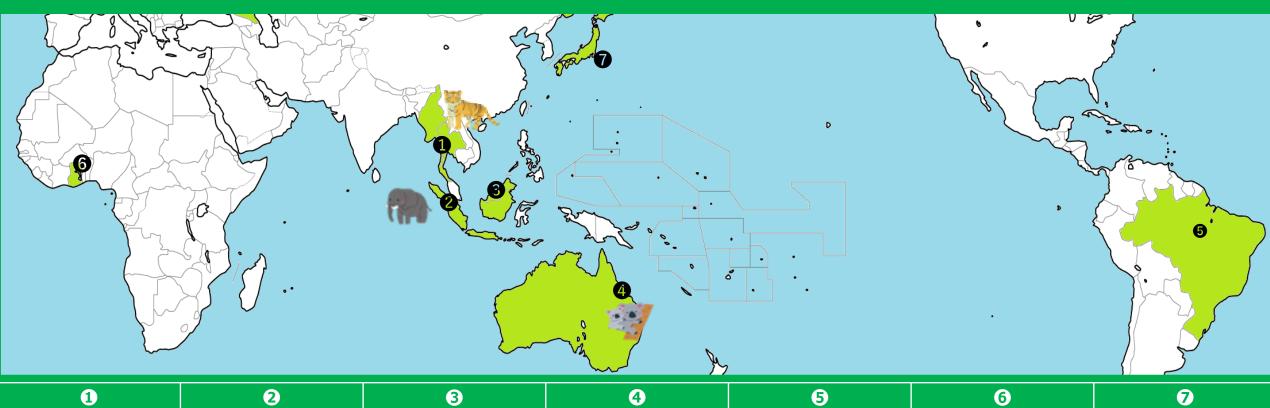
農林畜産物の生産のための土地転換は、世界の森林減少の要因の4割を占める。そのうち約6割が、たった7つのコモディティに起因する。
©WWF

7コモディティのサプライチェーンを改善すれば、 森林破壊・土地転換の要因を大きく減らすことができる



WWFジャパン森林保全活動の現場(2022~2026)

森林破壊ゼロを目指した生産改善、野生生物の生息地の保全、地域住民との共存、サステナブルな調達と消費



① メコン流域 (タイ&ミャンマー)	2 スマトラ島 (インドネシア)	3 ボルネオ島 (インドネシア)	④ オーストラリア	⑤ ブラジル	⑥ ガーナ	夕 日本
天然ゴム やアブラヤシ栽培のための農地拡大や密猟から森を守る	紙パルプや 天然ゴム、アブラヤシ 栽培のため農地拡大や密猟から森を守る	県政府も巻き込み、 小規模農家に環境 にやさしい アブラ ヤシ農法を普及	森林火災や放牧からコアラの森を守り回復させるための植林や保護活動	地域住民へのアグロフォレストリー 普及による荒廃地の回復	小規模 力力オ 農家 にアグロフォレス トリーを普及	森林破壊リスクのある農林畜産物を調達する日本企業にサステナブル調達を促すためのエンゲージ